平成２８年度　田村市立瀬川小学校 学校経営グランドデザイン

～　子供達が仲良く　よく学び　よく遊ぶ学校を目指して　～

学校経営の方針

学校課題を解決し、「知・徳・体」の調和のとれた子供を育成するために・・

１．子供第一主義の経営
２．全教職員の工夫と協働による経営
３．保護者、地域との連携を重視した経営

保護者・教師の願い

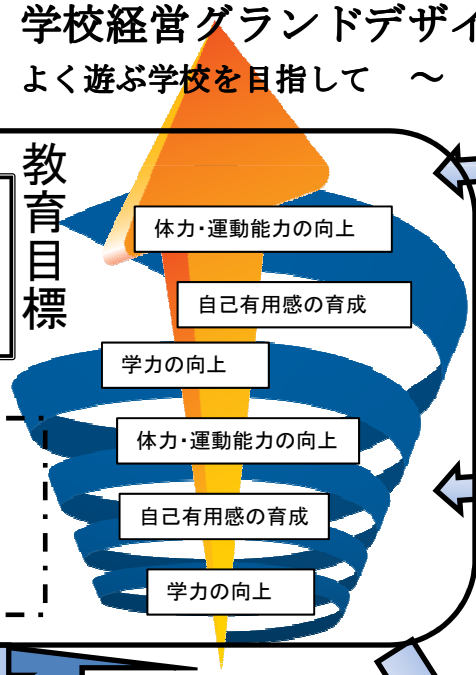
１．確かな学力を身に付けた子供
２．自信を持ち物事に積極的に取り組む子供
３．他のよさを理解し、他を思いやり、仲良くできる子供
４．当たり前の事を当たり前にできる子供
５．健康で体力、運動能力が身に付いた子供

教育目標

○ともに学び合う子供
○思いやりのある子供
○進んで運動する子供

本校の課題

１．確かな学力の向上
２．自己有用感の育成
３．体力・運動能力の向上



時代の要請から

１．確かな学力の確立
２．規範意識、豊かな心・健やかな体の育成
３．教職員の資質の向上
４．開かれた学校づくり（地域と連携）
５．個々のニーズに対応した教育の推進

子供の課題

１．「確かな学力」の育成
２．自他のよさを認め合い、協力し合う態度の育成
３．基本的な生活習慣の育成
４．体力・運動能力の育成
５．健康上の課題（う歯、肥満傾向）の解決

確かな学力の向上

目　標

○学習の方法を理解し意欲的に学習に取り組む態度を育成する。
○全国・県学習状況調査において、どの教科においても全国・県平均を達成する。
○標準学力検査偏差目標値５５を目指す。

具体的実践事項（実践計画１）

□個々のよさが認められる学級づくりの充実を図る。
□研修を充実させ、複式学級における確かな学力向上のため授業方法を個々の教師が身に付ける。
□子供に授業ルールを確実に身に付けさせる。
□家庭学習カードを工夫活用し家庭学習の充実を図る。
□家庭学習週間を実施し学習の仕方を身に付けさせる。
□家庭学習との連携を図りながら定着確認シートの徹底活用を図る。
□朝の学習タイムを工夫し確実に実施する。
□個に応じた指導の充実を図る。
（どんぐりチャレンジデーの実施）

自己有用感の育成

目　標

○自他のよさを理解し、仲良く協力する態度を育成する。
○当たり前のことを当たり前にできる態度を育成する。
（[田村っ子のルール10]の身に付いた子供をめざす。）
・低　→　主として自分自身にかかわること
・高　→　主として他とのかかわりに関すること

具体的実践事項（実践計画２）

□子供の心に響く道徳の授業を確実に実施する。
□困りごと調べの実施と適時指導を行う。（毎週）
□縦割り班や委員会活動を充実させる。
□自他のよさを認め、協力し合える学級経営を行う。
□子供の良い点や向上している点を積極的に賞賛する。（どんぐりコーナーの継続実施）
□「田村っ子のルール１０」について振り返りカードを活用し全教職員同一歩調で指導にあたる。
□ＱＵ検査を個別指導や学級経営に有効活用する。
□体験活動の充実を図る。□登下校時のあいさつ運動を継続する。□SSWの活用を図る。

体力・運動能力の向上

目　標

○体力・運動能力テストにおいて、全国平均を目指す。
○う歯の未治療者「０」、肥満傾向児童の減少を目指す。
○健康な子供の育成を目指す。

具体的実践事項（実践計画３）

□運動身体づくりプログラムを体育の時間に必ず実施する。
□体育的行事に向けた練習の充実をはかる。
□日常の外遊びを積極的に行わせる環境を作る。
□各大会等の個人記録の累積により運動への意欲を高める。
□家庭と連携し、う歯や肥満の個別指導を充実させる。
□外部講師を積極的に活用し、食育、薬物乱用防止、放射線教育等の健康指導の充実を図る。
□家庭と連携し、基本的な生活習慣の育成を図る。

安全・安心な教育環境の整備　　保護者や地域との連携　　子ども、地域、保護者から信頼される学校・教員